



Book Mark

2017
11

図書館へ行こう

短期大学 教授 夢沼康子

先日、図書館のスタッフの方が私を訪ねたいとお話があった。図書館の企画「研究室訪問」だそうだ。図書館の企画として私のことなど成立するのだろうか、何を聞かれるのだろうと思い、返事を少し躊躇していた。なんといっても、研究室が散らかっている…。

実は、私は、最近図書館にはあまり足を運んでいない。でも、ときどき訪ねて、あの空間と時間を過ごすことは楽しいことである。非日常というか、私一人、という感覚はやはり楽しい。私がここにいることを誰も知らない、と思うとなおさらである。

そして、図書館の方たちが3人で私の研究室にみえた。まず、学生たちの図書館利用についてのこと。学生の図書館利用をいかに増やすか、と真剣に語られ、意見も求められた。学生に大学側の思いを伝え、こちらの思うように行動してもらうのはなかなか難しいのである。

図書館に足を運び、図書を利用する。学生時代にぜひ、経験してほしいことである。「本を読む」、なんのためなのだろう。最近、『正しい本の読み方』という新書を手にした。著者は、社会学者の橋爪大三郎である。現代は、本が多すぎて全部の本を読むわけにはいかないの、本の読み方の本が必要なのだと「はじめに」にある。「頭の栄養」のために教養や、知識が必要で、頭が元気になると私も元気になるのだそうだ。

本を読むことで、私たちは自分では経験できないことを経験することができる。自分で経験できることなんてほんの少しだから、それだけで色々な大切なことを決めてしまうのは大変である。本を読むと、世界が広がって、考え方の幅が広がるような気がする。

読む本を選ぶ、というのなかなかスリルがある。自分の選んだ本を並べてみると、けっこう自分が見えてきたりする。そのためにも、図書館は格好の場所である。学生のみなさん、ぜひ図書館に行きましょう！きっと何かが見つかると思いますよ。でも、そこで私を見つけても、誰にも言わないでくださいね。

参考文献

『正しい本の読み方』橋爪大三郎著（講談社現代新書）、講談社。
2017（019.12//H38）

参考文献は図書館で所蔵しています

開催報告

- 「全国大学ビブリオバトル2017～首都決戦～予選会 城西大学」



- 「ビブリオバトル2017 in 高麗祭」



アドバイザー通信

- 第13回ライブラリーラウンジ「音学と科楽」開催報告



研究室訪問 Vol.10

- 短期大学 夢沼康子先生

図書館員おすすめの図書1冊

- 『世界の特別な1日：未来に残したい100の報道写真』日経ナショナルジオグラフィック社

全国大学ビブリオバトル2017～首都決戦～予選会 城西大学

10月6日 出場者数:17名 観戦者数:計167名 会場:図書館2階視聴覚室

昨年まで2会場で2回戦を同時進行していた予選会を、今年は1つの会場で3回戦を通して行いました。観戦者数は1回戦57名、2回戦60名、3回戦50名と、どの試合にも多くの方が集まり、この日のために準備を重ねてきたバトルが繰り広げる熱戦を見守りました。大東文化大学の先生と図書館職員の方も来館、観戦され「レベルが高く驚いた。どの発表者にとっても忘れられない発表になったのではないかな」との講評をいただきました。



 チャンプ本はこの3冊です！



『Life shift : 100年時代の人生戦略』

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著；池村千秋訳
経済学部3年 黒崎さん (増山ゼミ代表) 発表

『キリンビール高知支店の奇跡』

：勝利の法則は現場で拾え！』田村潤著

理学部化学科3年 鈴木さん 発表

『キングを探せ』法月繪太郎著

現代政策学部3年 柴田さん 発表

発表者の皆さんおめでとございます



閉会式では、関 俊暢 図書館長より関東地区決戦出場者へ向け、

「発表者のキャラクターも大事だが、ビブリオバトルの主役は本。おすすめ本の魅力についても、より力を入れて発表してほしい」

とのアドバイスをいただきました。

参加者アンケートより

- 初めての観戦参加でした。バトル（出場者）が紹介してくれた本は、すべて読んでみたいと思いました。また参加したいです。
- 本に向き合うとても良い機会になりました。
- 発表者の皆さんの熱意が伝わりました。●白熱した3時間でした！
- またバトルとして参加したい。●どの発表者も、本への思いが自分の言葉で語られていて、どれに投票するかとても悩みました。

チャンプ本の発表者3名は「全国大学ビブリオバトル2017関東地区決戦」に出場し、さらに勝ち進むと「全国大学ビブリオバトル2017～首都決戦～」（12月17日、よみうり大手町ホール）へ出場します。

※詳しくは図書館ホームページをチェック！

ビブリオバトル2017 in 高麗祭

10月28日 出場者数:5名 観戦者数:65名 会場:図書館2階視聴覚室

高麗祭初日に、学内チャンプ本を決定するビブリオバトル特別戦を開催しました。高麗祭での開催は今年で5回目、図書館学生アドバイザーが主催しています。あいにくの雨天で、会場が図書館前ステージから館内へと変更になりましたが、温かい声援の中、今年のチャンプ本1冊が決定しました。

 高麗祭チャンプ本 

『キングを探せ』法月繪太郎著 現代政策学部3年 柴田さん 発表



広報委員会のステージ企画「上をむいてあるKOHO」で学生アドバイザーが開催を宣伝

多くの方が足を運んでくださり、会場（視聴覚室）の席が埋め尽くされました



観戦くださった経済学部 勝浦信幸先生より、5名ともプレゼン力が高く、すべての本を読みたくなったという感想をいただきました

第13回 ライブラリーラウンジ

講師：理学部 教授 伊藤 陽 先生



10月13日
参加者数：32名
会場：図書館グループ学習室6B

ライブラリーラウンジは、参加者が学部や年齢を越えて交流を図れるイベントです。第13回となる今回は、図書館展示「科学道100冊」の連動企画として開催し、伊藤先生より科学に関する楽しいお話をお聴きかせいただきました。
※科学道100冊は「理化学研究所」と「編集工学研究所」が推進するプロジェクトです。7・8月にその中から選んだ約50冊を、館内で展示紹介しました。



最初に伊藤先生は、自己紹介を兼ねてお勧めの本を紹介してくださいました。『The Family of Man』という写真集で、人の誕生から死までが描かれており、そこに人間の「美」をみたとのお話でした。

次に「音」について実際にギターやタブレット・音波計測器を用いて解説していただきました。弦楽器が奏でる音は、弦の長さに反比例するとのことで、人間が美しいと感じる音は、科学

的観点から証明できるということです。また、音に関わる歴史についても語っていただき、ピタゴラスの時代から考えられていたことを知ることができました。

「音」の話題に続いて「光」についてのお話もしていただきました。専門的な内容であるものの、簡易分光器を使って、目に見える解説をしていただいたことで、専門知識が無くても比較的理解することができました。

最後の質問コーナーでは、科学に関する専門的な質問や、音楽機器から流れる音はどのようにして人の耳に伝わっているのかなど、参加者からの様々な疑問に答えていただきました。

音や光といった私たちと身近に関わるものでも、専門的な知識が加わると、今までと違う見方ができることに驚きました。今回のラウンジを通じて、学びの楽しさを改めて感じることができたように思います。

<記：学生アドバイザー 三森優人>

『The Family of Man』created by Edward Steichen ; prologue by Carl Sandburg. Museum of Modern Art. 1986 は図書館で所蔵しています(748//St3)



<参加者の声より>

音楽というものを数値化し、表すということに、とても興味を持ちました

音階を作ることと、ピタゴラスも考えていたと知って驚いた

新しい発見の連続で面白かったです

数式は分からなかったけれど、感覚で楽しむことができた



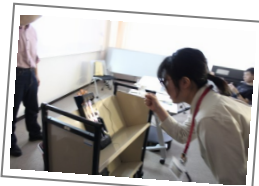
先生は実演も交えて、分かりやすく解説してくださいました

ライブラリーラウンジは学生アドバイザーが主催しています



先生方の参加もあり、自然系の学生だけでなく、社会系の学生も化学のお話を楽しんでいる様子でした

参加者も実験に挑戦！



「科学道100冊」の本も展示紹介しました

ライブラリーラウンジは今後も開催します。お楽しみに！



研究室訪問 Vol.10

図書館では利用者の皆さんに役立つ使いやすい図書館作りを目指して、先生方の研究室を訪問し、ご要望等をお伺いしています。

短期大学 教授 蓼沼康子 先生 2017年9月20日訪問

先生は、学生をローズガーデンに連れて行き「テーマを決めてレポートを書く」という課題を出し、図書館へ行って調べたことを発表するという授業をされたそうです。「アンネフランクという名前のバラ」から「アンネフランク」「ユダヤ人とは」というテーマに発展し、図書館を使った授業で意欲的な取り組みが見られたとのこと。本を読めば文章を書けるようになり、就職活動でエントリーシートを書くときにも役に立ち、また図書館を含め情報を活用することを学んでおけば社会に出てからも生きていく力になる。使い易い図書館があるのだから使って欲しい。図書館ガイダンスの後で、学生が図書館に通う切っ掛けとなるような課題を先生方に提案してくださいとのことでした。一人の人間を育てていくために学生を丸ごと受け入れながら、学問を通して学生のやる気に火を付けるべく仕掛けを工夫しているとのこと、で、「教員の熱意は伝わる」という言葉が印象的でした。



蓼沼先生、お忙しい中ありがとうございました。今後も多くの先生方を訪問させていただく予定です。

図書館員おすすめの図書/冊

『世界の特別な1日：未来に残したい100の報道写真』 マルゲリータ・ジャコゼ、ロベルト・モッタデリ、ジャンニ・モレッリ著；村田綾子訳、日経ナショナル ジオグラフィック社、2017.6 (209.7//G41)

今月の紹介者：利用者サービス担当 塩入

この本は、アメリカの大陸横断鉄道が開通した年から17歳の少女がノーベル賞を受賞した年までの、1869年から2015年の間で世界の分岐点となった瞬間を収めた写真集です。今は誰もが日常的に写真を撮り世界へ発信することもできますが、カメラや映像放送のなかった時代、私たちは文字や耳からの情報のみで世界の有りようを想像していたのだと思うと、見る者を一瞬で現場に立たせる“写真の力”につくづく驚嘆させられます。写真には解説がついており、歴史的な背景はもちろん、その舞台裏やシャッターを切ったカメラマンについても触れられています。人類の歴史は残念ながら喜びよりも血生臭い出来事の連続で、世界平和は叶うことのない願いなのかもしれません。この本の続きが出るとしたら2016年から先の未来になりますが、そこにはどのような写真が飾られるのか、その歴史を創っていくのは今を生きる私たちひとりひとりなのだと問われているような気がします。



Information

申込先：水田記念図書館



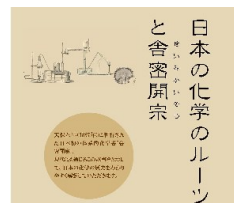
■11月30日(木) 15:20~16:40 会場：1号館203教室

城西大学理学部化学科・水田記念図書館共催講演会

「日本の化学のルーツと含密開宗(せいみかいそう)」

講師：小林啓二 先生 (元城西大学理学部教授、東京大学名誉教授)

『含密開宗』とは、天保8(1837)年に刊行された日本最初の化学書です。今回この書名を冠した演題で講演会を開催します。※『含密開宗：復刻と現代語訳・注』D.ウィリアム・ヘンリー原著；宇田川榕菴訳著、講談社、1975 (430//Se18)



■12月1日(金) 13:30~15:00 会場：3号館301教室

水田記念図書館主催講演会「大手出版社の仕事(仮)」

講演者：長久保 亮 氏 (株式会社文藝春秋) 聞き手：佐藤健太 氏 (フリー編集者)

図書館では出版社の方を招いた講演会を開催しています。今回は、文藝春秋入社以来、週刊文春、Number Web、文春文庫の編集や書店営業などを歴任してきた長久保氏より、入社試験から、雑誌の取材・編集など、出版社の現場のお話をインタビュー形式で伺います。



■12月8日(金) 13:30~15:00 会場：清光会館401教室

水田記念図書館主催講演会「知っておこう著作権2017 Part. 2」

講師：大亀哲郎 氏 (日本書籍出版協会著作権相談員)

前回逃した人必聴です。



■12月15日(金) 13:30~15:00 会場：鶴ヶ島市立中央図書館

第9回地域相互協力図書館合同主催公開講座

「地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割」

講師：大嶋 繁 先生 (城西大学薬学部准教授)

申し込みは、鶴ヶ島市立中央図書館 (Tel: 049-271-3001)



9・10月の図書館集報

- 9/5 日本医学図書館協会(JMLA)/日本薬学図書館協議会(JPLA)のコンソーシアム説明会に参加しました。
- 9/6~7 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)の2017年度版元提案説明会に参加しました。
- 9/11 日本薬学図書館協議会(JPLA)機関誌『薬学図書館』編集委員会に出席しました。
- 9/15 数学科教員・大学院生向け「合同電子リソース説明会」を開催し、15名が参加しました。
- 9/23~24 鶴ヶ島市立図書館図書まつりで「芭蕉と江戸俳諧の世界」と題し、松尾芭蕉が活躍した江戸時代の俳諧に関する資料を展示紹介しました。
- 9/24 「ビブリオバトル IN 鶴ヶ島市立中央図書館」に、城西大学の学生2名が出場しました。
- 9/25 図書館防災訓練を実施しました。
- 10/6 全国大学ビブリオバトル2017~首都決戦~予選会 城西大学を開催しました。
- 10/11 埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALA)のOpen Library Weeksで大東文化大学附属図書館主催の研修会に参加しました。
- 10/13 第13回ライブラリーラウンジを開催しました。
- 10/18 全学防災訓練に参加しました。
- 10/26 坂戸市立図書館協議会に出席しました。
- 10/27 私立大学図書館協会東地区部会事務長・管理職研修会に参加しました。
- 10/28 ビブリオバトル2017 in 高麗祭を開催しました。

■オープンキャンパス(9/17、10/29)

合計39名が図書館を見学し、内17名がキーワードラリーに参加しました。

2017年11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

□=9:00~21:00 ■=9:00~19:00
 ■=9:00~17:00 ■=休館

発行：城西大学水田記念図書館
 〒350-0295
 埼玉県坂戸市けやき台1-1

TEL : 049-271-7736

FAX : 049-286-8126

mail : library1@josai.ac.jp

URL: http://libopac.josai.ac.jp/

TwitterID @lib_josai
 図書館ツイッターの
 QRコードはこちら→

